

安達太良山・磐梯山噴火時の被害減災のため 緊急減災対策砂防計画の検討を開始します！

～学識経験者や防災行政関係者により
「福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会」を開催～

火山噴火に伴う土砂災害に対して、緊急対策を迅速かつ効果的に実施し、被害をできる限り軽減（減災）するために、火山及び砂防の学識者と防災行政関係者からなる委員会を平成22年度に設置し、福島県内の火山について減災計画の検討を行ってきました。

今回は、安達太良山・磐梯山の2火山について、「火山噴火緊急減災対策砂防計画」の検討を開始するための合同作業部会を開催します。

これに先立ち「福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会」を開催し、「吾妻山火山噴火緊急減災対策砂防計画」（案）についての最終的意見をいただきます。

日時：平成24年11月6日（火）

10：30～12：00

「福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会」（吾妻山のとりまとめ）

13：00～15：00

「同検討委員会・安達太良山及び磐梯山合同作業部会」

※参考資料 次第（別紙1）、名簿（別紙2）

場所：福島ビューホテル 3F 会議室「安達太良」※位置図（別紙3）

内容：①吾妻山火山噴火緊急減災対策砂防計画のとりまとめについて
②安達太良山及び磐梯山火山噴火緊急減災対策砂防計画の検討開始について

その他：「吾妻山・安達太良山・磐梯山火山防災副読本」（中学生版）について

※参考資料（別紙4）

吾妻山作業部会で出された、日頃からの防災教育・啓発活動が重要であるとの意見をふまえ、吾妻山、安達太良山、磐梯山の3火山について、火山の基礎知識や噴火災害について学べる「火山防災副読本」（中学生版）を作成しました。

上記3火山に関係する市町村中学校に寄贈するとともに、今後は出前授業などで活用し、防災力の向上を図っていきます。

記者発表先：福島県政記者クラブ、福島市政記者会、新潟県政記者クラブ、新県政記者クラブ、その他・専門紙

問い合わせ先

福島県土木部砂防課

TEL：024-521-7491（直通）

主幹兼副課長 小川 辰壽

吾妻山・安達太良山、副読本について

国土交通省東北地方整備局 福島河川国道事務所

TEL：024-546-4331（代表）

副所長（河川） 畠山 浩晃

調査第一課長 大平 知秀

磐梯山について

国土交通省北陸地方整備局 河川部

TEL：025-280-8880（代表）

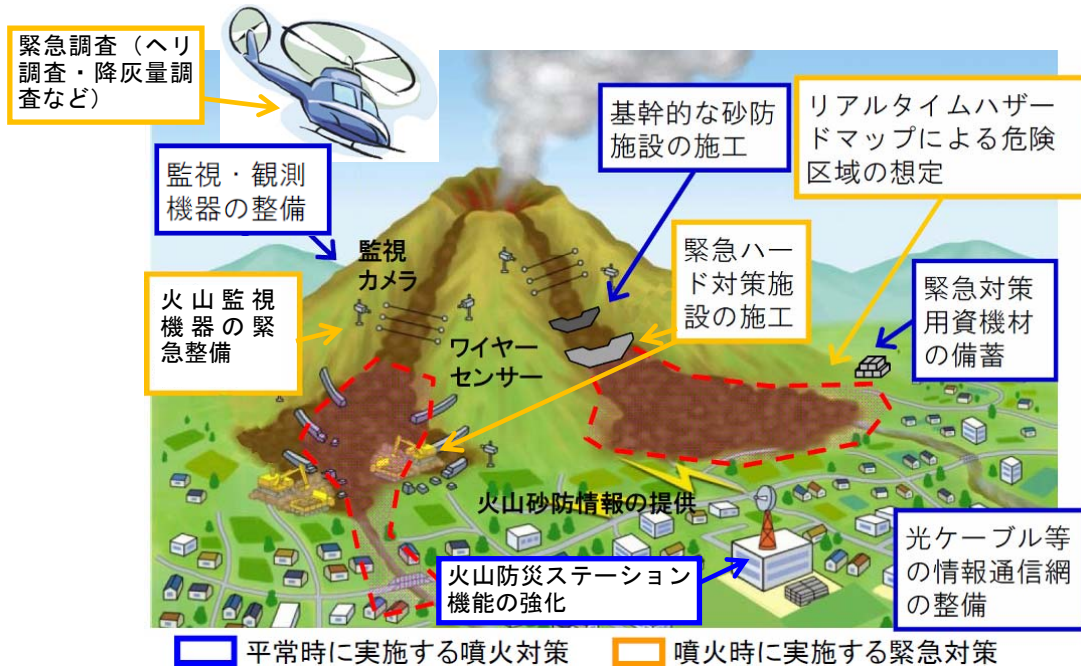
地域河川調整官 東川 敏

建設専門官 福田 光生

火山噴火緊急減災対策砂防計画の概要

火山噴火緊急減災対策砂防計画とは、火山噴火時に発生が想定される溶岩流、火山泥流、土石流等の土砂災害による被害を軽減（減災）するため、地方整備局及び都道府県の砂防部局が策定するハード・ソフト対策からなる火山噴火時の緊急対応を定める計画です。

この計画は、火山活動による社会的影響が大きく、火山活動が活発で、ハザードマップが作成されている火山について、検討を実施しており、福島県内においては、吾妻山・安達太良山・磐梯山を当面の対象としています。



火山噴火緊急減災対策砂防のイメージ

緊急対策の実施事例（緊急ハード・ソフト対策）



緊急除石（霧島山(新燃岳)）



無線による遠隔操作

遠隔操作による堰堤施工（三宅島）



ヘリによる調査（有珠山）



降灰量の調査（霧島山(新燃岳)）



コンクリートブロックで嵩上げした流路を流れる泥流（三宅島）



大型土嚢を配置した仮導流堤を流れる泥流（三宅島）



ワイヤーセンサー 監視カメラ

監視・観測機器の整備（霧島山(新燃岳)）

平成 24 年度
福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会
(通算：第 2 回)

日 時 : 平成 24 年 11 月 6 日 (火) 10:30~12:00
場 所 : 福島ビューホテル 3F 安達太良

議 事 次 第

1. 開 会 10:30~
2. 開会挨拶：福島河川国道事務所長
3. 委員紹介
4. 規約の改正
5. 委員長挨拶
6. 議 事 11:00~
(説明：福島河川国道事務所)
 - 1) 吾妻山緊急減災対策砂防計画について
 - ・吾妻山作業部会の成果報告
 - ・今後の取り組みについて
 - 2) 安達太良山作業部会、磐梯山作業部会の設置について
 - ・安達太良山作業部会の検討項目とメンバー案
 - ・磐梯山作業部会の検討項目とメンバー案
7. 閉 会 ~12:00

平成 24 年度
福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会
合同作業部会

〔 第 1 回 安達太良山作業部会
第 1 回 磐梯山作業部会 〕

日 時 : 平成 24 年 11 月 6 日 (火) 13:00~15:00
場 所 : 福島ビューホテル 3F 安達太良

議 事 次 第

1. 開 会 13:00~
2. 開会挨拶 北陸地方整備局 地域河川調整官
3. 部会員紹介
4. 部会長選出
5. 部会長挨拶
6. 議 事 13:15~
 - 6-1. 安達太良山 (説明: 福島河川国道事務所)
 - 1) これまでの経緯
 - 2) 現状の把握
 - 3) 噴火シナリオの作成
 - 6-2. 磐 梯 山 (説明: 北陸地方整備局河川部)
 - 1) これまでの経緯
 - 2) 現状の把握
 - 6-3. 今後の進め方について
7. 閉会 ~15:00

福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会 委員名簿(案)

(敬称略)

委員	石川 芳治	東京農工大学大学院 教授
	井良沢 道也	岩手大学農学部 教授
	植木 貞人	東北大学大学院 准教授
	佐藤 公	磐梯山噴火記念館 副館長
	中村 洋一	宇都宮大学教育学部 教授
	長橋 良隆	福島大学共生システム理工学類 教授
	藤縄 明彦	茨城大学理学部 教授
	岡本 敦	国土技術政策総合研究所 危機管理技術研究センター 砂防研究室長
	石塚 忠範	(独)土木研究所 つくば中央研究所 土砂管理研究グループ 火山土石流 チーム 上席研究員
	浪岡 保男	林野庁 東北森林管理局 置賜森林管理署長
	中山 浩次	林野庁 関東森林管理局 福島森林管理署長
	飯塚 充由	林野庁 関東森林管理局 会津森林管理署長
	佐藤 義治	山形県 県土整備部 砂防・災害対策課長
	須藤 勇司	山形県 環境エネルギー部 危機管理課長
	堀田 洋一	福島県 土木部 砂防課長
	小松 一彦	福島県 生活環境部 災害対策課長
	稲本 太一郎	福島県 農林水産部 森林保全課長
	瀬戸 孝則	福島市長
	安部 三十郎	米沢市長
	前後 公	猪苗代町長
	小椋 敏一	北塩原村長
	原 正夫	郡山市長
	三保 恵一	二本松市長
	高松 義行	本宮市長
	浅和 定次	大玉村長
	室井 照平	会津若松市長
	山口 信也	喜多方市長
	五十嵐 源市	磐梯町長
	吉田 明博	気象庁 仙台管区气象台 火山防災情報調整官
	菅原 寿	気象庁 山形地方气象台 防災業務課長
	澤田 雅善	気象庁 福島地方气象台 防災業務課長
	横山 喜代太	東北地方整備局 河川部 流域・水防調整官
	東川 敏	北陸地方整備局 河川部 地域河川調整官
	安部 勝也	東北地方整備局 福島河川国道事務所長
	田部 成幸	北陸地方整備局 阿賀野川河川事務所長
	仲村 学	北陸地方整備局 阿賀川河川事務所長

【事務局】

福島県土木部 砂防課
東北地方整備局 河川部
北陸地方整備局 河川部
東北地方整備局 福島河川国道事務所
北陸地方整備局 阿賀野川河川事務所
北陸地方整備局 阿賀川河川事務所

福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会
安達太良山作業部会名簿(事務局案)

(敬称略)

部会員	井良沢 道也	岩手大学農学部 教授
	植木 貞人	東北大学大学院 准教授
	佐藤 公	磐梯山噴火記念館 副館長
	長橋 良隆	福島大学共生システム理工学類 教授
	藤縄 明彦	茨城大学理学部 教授
	岡本 敦	国土技術政策総合研究所 危機管理技術研究センター 砂防研究室長
	石塚 忠範	(独)土木研究所 つくば中央研究所 土砂管理研究グループ 火山土石流 チーム 上席研究員
	中山 浩次	林野庁 関東森林管理局 福島森林管理署長
	飯塚 充由	林野庁 関東森林管理局 会津森林管理署長
	堀田 洋一	福島県 土木部 砂防課長
	小松 一彦	福島県 生活環境部 災害対策課長
	稲本 太郎	福島県 農林水産部 森林保全課長
	瀬戸 孝則	福島市長
	前後 公	猪苗代町長
	原 正夫	郡山市長
	三保 恵一	二本松市長
	高松 義行	本宮市長
	浅和 定次	大玉村長
	吉田 明博	気象庁 仙台管区气象台 火山防災情報調整官
	澤田 雅善	気象庁 福島地方气象台 防災業務課長
	横山 喜代太	東北地方整備局 河川部 流域・水防調整官
	東川 敏	北陸地方整備局 河川部 地域河川調整官
	安部 勝也	東北地方整備局 福島河川国道事務所長
【事務局】		福島県土木部 砂防課 東北地方整備局 福島河川国道事務所

福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会
磐梯山作業部会名簿(事務局案)

(敬称略)

部会員	井良沢 道也	岩手大学農学部 教授
	植木 貞人	東北大学大学院 准教授
	佐藤 公	磐梯山噴火記念館 副館長
	中村 洋一	宇都宮大学教育学部 教授
	長橋 良隆	福島大学共生システム理工学類 教授
	岡本 敦	国土技術政策総合研究所 危機管理技術研究センター 砂防研究室長
	石塚 忠範	(独)土木研究所 つくば中央研究所 土砂管理研究グループ 火山土石流 チーム 上席研究員
	飯塚 充由	林野庁 関東森林管理局 会津森林管理署長
	堀田 洋一	福島県 土木部 砂防課長
	小松 一彦	福島県 生活環境部 災害対策課長
	稲本 太郎	福島県 農林水産部 森林保全課長
	前後 公	猪苗代町長
	小椋 敏一	北塩原村長
	原 正夫	郡山市長
	室井 照平	会津若松市長
	山口 信也	喜多方市長
	五十嵐 源市	磐梯町長
	吉田 明博	気象庁 仙台管区气象台 火山防災情報調整官
	澤田 雅善	気象庁 福島地方气象台 防災業務課長
	東川 敏	北陸地方整備局 河川部 地域河川調整官
	田部 成幸	北陸地方整備局 阿賀野川河川事務所長
	仲村 学	北陸地方整備局 阿賀川河川事務所長
【事務局】		福島県土木部 砂防課 北陸地方整備局 河川部 北陸地方整備局 阿賀野川河川事務所 北陸地方整備局 阿賀川河川事務所

【会場】 福島ビューホテル

住所: 福島県福島市太田町 13-73

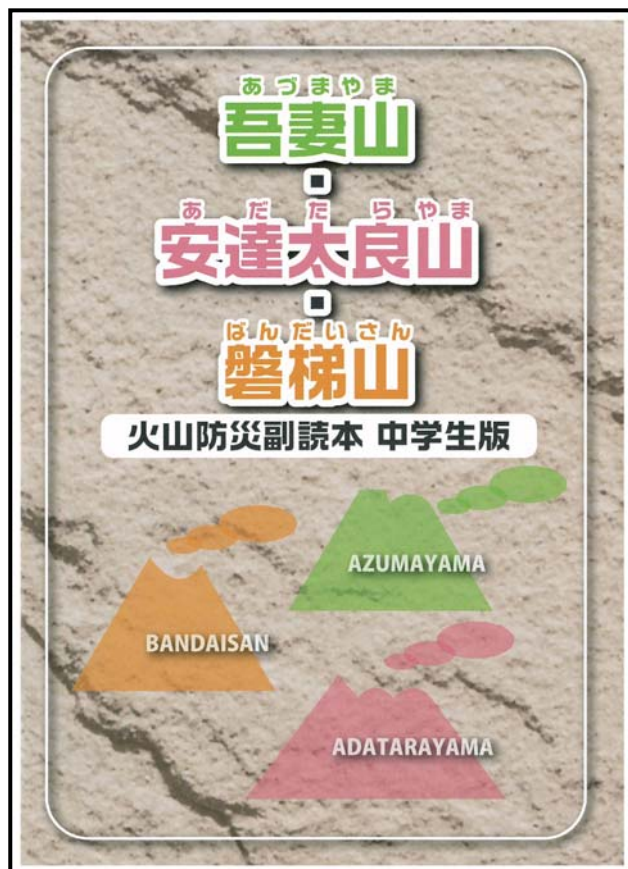
電話: 024-531-1111

福島ビューホテル 位置図



吾妻山・安達太良山・磐梯山 火山防災副読本 中学生版 資料

表紙



目次

A5版 50頁

目次	
第1章 火山と地域の関わり	
▲1-1 火山って何だろう？	3-6
▲1-2 火山の恵みと地域社会	7-10
▲1-3 火山噴火と被害の特徴	11-14
第2章 吾妻山	
▲2-1 吾妻山の生い立ち	15
▲2-2 吾妻山の過去の噴火	16-18
▲2-3 吾妻山で考えられる火山災害	19-20
第3章 安達太良山	
▲3-1 安達太良山の生い立ち	21-22
▲3-2 安達太良山の過去の噴火	23
▲3-3 安達太良山で考えられる火山災害	24
第4章 磐梯山	
▲4-1 磐梯山の生い立ち	25-26
▲4-2 磐梯山の過去の噴火	27-32
▲4-3 磐梯山で考えられる火山災害	33-36
▲4-4 火山を活かした新たな活動～ジオパーク～	37-40
第5章 もしも火山が噴火したら	
▲5-1 私たちの生活への影響	41-42
▲5-2 火山が静かなときから火山を学び、対応を考えよう	43-44
▲5-3 火山観測と火山情報	45-48
資料編	
▲資料	49-50

執筆者

執筆者

下記以外全て

佐藤公
(磐梯山噴火記念館)安達太良山
藤縄明彦
(茨城大学理学部 教授)吾妻山
長橋良隆
(福島大学共生システム理工学類 教授)火山観測と火山情報
関根一男
(仙台管区気象台火山防災情報調整官)